

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 安心して楽しく HIKARIE に通うことができる。(1)(3)
- ② 小集団の中で様々な経験を積み重ねる。(3)(4)
- ③ 「できた」を増やし、自信をもつことができる。(2)(5)

【目標の具現化】

- ① 家族と離れたコミュニティの中で安心して過ごせる場所になってほしい。保護者とその都度連携をし、登所することを楽しみにできるようにしていく。インクルージョンの視点から、保育園等地域との交流を取り入れていく。
- ② 活動の中で言葉の意味や物の使い方、ルールを理解し、遊びの幅を広げ、沢山の経験を積み重ねていってほしい。場を共有することから、徐々に段階を上げ、ルールを理解したり、友達や指導員の存在を意識したりすることができるように、集団での活動を意図的に設定する。
- ③ 成功体験を積むことで、意欲的に活動に取り組んだり、新しいことに挑戦したりしてほしい。できるようになったことに対して褒め、一緒に喜ぶことで「できた」という達成感を感じられるようにしていく。

【活動日課・活動内容】

平日

9:30～ 9:45 はじめの会
 9:45～10:30 活動①
 10:30～11:30 活動②
 11:30～13:00
 (食事指導・トイレトレーニング)
 13:00～13:45 活動③
 13:45～14:00 おわりの会

学校休業日

9:30～ 9:45 はじめの会
 9:45～10:45 活動①
 10:45～11:45 活動②
 11:45～12:15 (トイレトレーニング)
 12:15～12:30 おわりの会

長期休業日

・年長の子を中心に放課後等デイサービスの友達と一緒に活動する機会を設定することで活動の幅を拡げていく。

例)音楽療法、運動あそび、食事指導、身辺自立、読み聞かせ、創作活動、手先指先訓練等

【指導員の評価の観点】

- ☐ 安心して過ごせる場所になるように子どもの些細な変化や気づいたことを家庭と共有することができたか。
- ☐ 集団を意識した活動内容を設定し、教材や提示の仕方等工夫することができたか。
- ☐ 個にあったねらいを設定し、「できた」という達成感を感じられるように活動内容を設定、支援することができたか。

【グループ目標】

5 領域 (1) 健康・生活 (2) 運動・感覚 (3) 人間関係・社会性 (4) 言語・コミュニケーション (5) 認知・行動

- ① ルールを守って、集団生活を送ることができる。(1) (3)
 ② 学習姿勢を身に付けることができる。(2) (5)
 ③ 友達とよりよくなかかわるための言葉や話し方を学び、行動に移すことができる。(3) (4)

【目標の具現化】

- ① HIKARIE が学校と家以外の場所で安心して過ごせる場所になり、みんなが心地よく過ごしてほしい。そのためには、HIKARIE でのルールを理解し、そのルールが定着するように日々意識しながら過ごしてほしい。
- ② 低学年が多いため、まずは学習に向かう姿勢を習慣化してほしい。学習する時間とそうでない時間を理解し、一定時間座って学習に取り組むことができるようになってほしい。また、自分から机周りや机の上を整理したり、椅子の座り方や鉛筆の持ち方に気を付けたりしながら、自分から学習環境や学習姿勢を意識することができるようになってほしい。
- ③ お互いに気持ちよくなかかわることができるように、かかわり方や言葉の使い方を学んでほしい。休み時間等も含め、どんな言葉を使って話したら相手が気持ちよくなかかわることができるか、少しずつ相手の気持ちを考えることができるようになってほしい。そして、実際に行動に移すことができるようになってほしい。

【活動日課・活動内容】

平日	学校休業日	長期休業日
15:40～ はじめの会 16:00～ 学習① 16:30～ 学習② 17:00～ 選択活動 17:20～ 終わりの会	10:00～ はじめの会 10:10～ 学習① 10:50～ 学習② 11:30～ 昼食・休憩 13:00～ 主活動 14:30～ 掃除 14:45～ 選択活動 15:20～ 終わりの会	・事業所外学習を定期的実施し、外でのマナー等の社会性を学んだり、普段経験できないような経験を積んだりする。 ・他グループの友達とかかわる機会を設定し、いろいろな友達とかかわることができるようにする。 ・インクルージョンの視点から、地域交流等のかかわりを取り入れる。

平日は学習を中心に実施し、学校休業日は学習+様々な経験ができるような体験的な学習を行っていく。

【指導員の評価の観点】

- ☐ ルールを明確にし、視覚的に分かりやすく示したり、統一した支援を行ったりすることができたか。
☐ 学習する時間を明確にし、学習環境に配慮することができたか。
☐ 適切にかかわるためにどんな言葉を使ったらいいか、また相手の気持ちを考えることができるように、利用時間を通してその都度伝えることができたか。